

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-3981-4201

附属機関又は 会議体の名称	平成22年度 未来戦略創出会議(第5回)	
事務局(担当課)	政策経営部企画課	
開催日時	平成22年10月20日(水) 10時15分～11時00分	
開催場所	第一員会室(本庁舎4階)	
議題	(1)ビルド・アンド・スクラップによる政策的経費充当事業のスクラップ額について (2)平成23年度当初予算編成方針・部局枠配分額等について (3)平成23年新規・拡充事業の提案について (4)地域ビジョン懇談会について (6)政策経営会議(7～10回)結果報告	
公開の 可否	会議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	区長・副区長(欠席)・教育長・政策経営部長・総務部長・施設管理部長(欠席)・区民部長・文化商工部長・図書館担当部長・清掃環境部長・保健福祉部長・健康担当部長・池袋保健所長・子ども家庭部長・都市整備部長・土木部長・会計管理室長・教育総務部長・選挙管理委員会事務局長・監査委員事務局長(欠席)・区議会事務局長
	幹事	企画課長・財政課長・行政経営課長・区長室長・広報課長・総務課長・人事課長・財産運用課長
	説明者	財政担当係長
	事務局	企画課企画調整グループ係長・主任主事

審議経過

(1)ビルド・アンド・スクラップによる政策的経費充当事業のスクラップ額について

幹事： 資料に基づき、ビルド・アンド・スクラップによる政策的経費充当事業のスクラップ額について説明。

平成 23 年度予算におけるスクラップ額の一般財源ベースの総額は 95,467 千円となっている。平成 18 年度からビルド・アンド・スクラップによる予算編成形式が始まり、平成 19 年度の予算から枠配分予算からのスクラップを実施している。再構築指数の考え方について、平成 21 年度の新規・拡充事業までは原則 50%としていたが、平成 22 年度の新規・拡充事業からは重点施策に該当する事業については原則 50%、それ以外の事業については 60%として二段階のスクラップ比率を設定している。

⇒提案の通り決定する。

(2)平成 23 年度当初予算編成方針・部局枠配分額等について

幹事： 資料に基づき、平成 23 年度当初予算編成方針・部局枠配分額等について説明。

先日の「景気は足踏み状態にある」との政府発表もあり、先行きは極めて不透明である。本区においても、財政調整交付金が平成 22 年 8 月の当初算定において予算額を 6 億 6 千万円下回り、区民税収入も現時点での見込みでは決算額が 5 億円以上下回る見込みとなっている。こうした中で平成 23 年度の収支見通しは、現時点で最も大きい場合に 50 億円程度の財源不足が生じると見込んでおり、事業の一つずつについて、経費を下げ、効果を上げるため、知恵と工夫を大いに発揮することを全職員に期待する旨、副区長からの依命通達が出されている。

説明者： 平成 22 年 8 月の収支見通しをもとに、決算の状況や所管課とのヒアリングの結果を踏まえて算定した結果、23 年度予算の枠配分額は 25,311,000 千円となっている。これに基づき、各部局において予算編成をお願いしたい。

一般財源ベースでの対 22 年度比では 603,358 千円増となっているが、この要因は扶助費等の一定の伸びを枠内予算に見込んでいるためである。なお、8 月の収支見通しから算定した 23 年度枠内推計額との比較では、520,921 千円の削減を図っており、この金額について、各部局において枠内推計額からの削減をお願いするものである。

予算編成の今後のスケジュールであるが、11 月 19 日を目途に、各部局において予算編成を行い、その後予算案説明会を 12 月初旬から実施したい。

区長： 平成 22 年度の予算編成と比較して、状況等に大きな違いや特徴などはあるのか。

幹事： 平成 22 年度の予算編成においては、最終的には 14 億円の基金取り崩しをせざるを得なかった状況がある。平成 23 年度の予算編成においても、昨年度と比較して景気が回復しているとは言えず、最大 50 億円程度の財源不足が生じる可能性があると思込んでいるが、公債費などの返済について計画的かつ着実に行われていることもあり、これにより、扶助費の増加を見込んだ予算編成が可能になっていると考えている。問題点としては、これまで先送りとなってきた投資的経費について、どのように見直して計画的に実施していくかなどがあげられる。

⇒提案の通り決定する。

(3)平成 23 年度新規・拡充事業の提案について

幹事： 資料に基づき、平成 23 年度新規・拡充事業の提案について説明。

本件についてはすでに 10 月 15 日付で通知をさせていただいているところである。昨年度と同様に、枠外予算要望の基準として一般財源ベースでおおむね 100 万円以上という基準を設けている。また、枠外予算要望事業を類型化し、本来の新規拡充事業である区として政策を積極的に推進する事業についてのみ、区長・副区長による選定を行うこととする。それ以外の施設の老朽化や大型備品の買い替えなど現状維持的なものについては、政策経営部にて判断をした上で区長・副区長に報告を行うこととする。

なお、今般の監査委員報告や決算委員会の場において、新規・拡充事業の執行率の低さが問題として取り上げられているところである。極端に執行率が低い、あるいは事業進捗がおもわしくない事業については、企画課から休廃止提案をする場合があるので、新規・拡充事業提案の際には、十分な精査をお願いしたい。

⇒報告の通り了承する。

(4)地域ビジョン懇談会について

幹事： 資料に基づき、地域ビジョン懇談会の開催について説明。

平成 22 年度は、新庁舎整備を中心に各地域の様々なテーマにも触れながら、5 地域において意見交換を実施したい。開催日程は 11 月 1 日から 11 月 17 日にかけての 5 回とし、11 月 1 日の中央地域については、グランドビジョン懇談会も兼ねる形式での開催とする。

⇒提案の通り決定する。

(5)政策経営会議(7～10回)結果報告

各委員： 資料に基づき、政策経営会議の結果について説明。

⇒報告の通り了承する。

<p>会議の結果</p>	<p>(1)ビルド・アンド・スクラップによる政策的経費充当事業のスクラップ額について (2)平成 23 年度当初予算編成方針・部局枠配分額等について (3)平成 23 年度新規・拡充事業の提案について (4)地域ビジョン懇談会について (5)政策経営会議(7～10回)結果報告 ⇒(1)・(2)・(4)について決定、(3)・(5)について了承</p>
--------------	--

<p>提出された資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビルド・アンド・スクラップによる政策的経費充当事業のスクラップ額一覧(各部局別) 平成23年度予算枠内化事業一覧(平成19年度政策的経費充当事業) ・平成23年度当初予算編成方針・部局枠配分額等について ・平成23年度新規・拡充事業の提案について ・平成22年度地域ビジョン懇談会の開催について ・平成22年度第7回～10回政策経営会議結果報告書
-----------------	---